

文教経済常任委員会

平成26年7月3～4日 福岡県筑後市・久留米市・佐賀県武雄市

【視察委員】
 委員長 青木 照美 副委員長 松井美津子
 委員 木村直 委員 木場田孝幸
 委員 今村 委員 坂本早苗
 委員 濱口 委員 池永幸生
 委員 上田 委員 議 長

7月3日 福岡県筑後市 農地集積、人・農地プラン

筑後市は、要土地基盤整備面積の全てが完了しており、水稲、麦、大豆の他に野菜、果樹、花、畜産など、本市と同様に多様な農業生産が行われています。農家数997戸、耕地面積2,030ヘクタール、農地集積率96%です。農地集積の取り組みは法人化を推進し、集積が促進され、現在19組織が法人化されています。人・農地プランについては、市農政課が対象となる地区の原案を作成し、検討委員会で承認後に決定され、現在プラン数32、経営体数215であり、本市においても取り入れるべき内容が多数ありました。



7月3日 福岡県久留米市 中央学校給食共同調理場

調理場は平成22年度に建設され、行政職員6人とPFI方式による民間事業者（従業者数55人）で運営されており、市内中学校14校、生徒数7,030人に提供されています。郷土料理や世界の料理の献立などもありました。野菜については地元産野菜

を6割使用するなど地産地消にも努められています。PFI方式は経費の面から20%程度の削減効果があり、学校給食の教育における位置づけと、その供給体制について参考にするべき点があります。



7月4日 佐賀県武雄市 指定管理者導入の市図書館

指定管理者によって年中無休で運営されています。来館者は1日平均2,500人、図書貸出し数は1日平均1,500冊です。図書館と本屋さんと同じ場所で共存するという珍しいビジネスモデルとして注目されています。計画が発表されると、図書館業界に賛否両論の波紋を広げながらも、マスコミに取り上げられたこともあり、行政視察が殺到しています。これからの市民の多様なニーズとライフスタイルにあった図書館が求められると痛感しました。



2学期制の導入を！

神田 公司議員



神田 労働安全衛生法の長時間労働者（教職員）集計表によると、月100時間を超える勤務、100時間、80時間勤務が多い学校は合志南小、東小、合志中、西合志南中。こうなると制度的には改革が必要だ。子どもたちと向き合う時間を1時間でも多くとることが必要だ。そこで2学期制の導入を考えていい時期ではないか。教育長は、大津町で2学期制を経験されている。2学期制の導入についての考えは。

教育長 特に新学習指導要領が改訂されてからは、指導内容、授業時数が増えており、それに対応していくために長期休業の短縮とか、2学期制の導入が、これを機会に進んでいる。私は2学期制、3学期制の学校、両方とも経験した。その中でメリット、デメリットは、どの学期制においてもある。特に学校サイドから見た2学期制の長所は、各行事において始業式と終業式の部分で1回ずつ減ること。それから、評価表作成に要する業務が減ること、教職員の負

担軽減に私はつながっていると感じている。2学期制の導入には子ども達の思いが、学校側の業務内容とか、運用、全ての面で判断することが大事だ。子どもたちにとって、本当に2学期制が有利なのか、そうした意見とか現状を踏まえて、現在では3学期制度を維持している。容易に何でも制度を変えないでほしいという保護者の願いがあるのも事実。教職員の負担軽減という2学期制のメリットも私は十分理解しているの、慎重に研究をしてまいりたい。

神田 いま何を優先すべきか。この労働実態から子どもたちに向き合う時間をとるのかというのは、非常に大きな課題である。



大規模化と並行し多忙化が進む小中学校

議会運営委員会

平成26年7月7～8日 福岡県行橋市・筑紫野市

【視察委員】
 委員長 坂本 武人 副委員長 尾方洋直
 委員 島田 敏春 委員 木村祐一
 委員 木場田 孝幸 委員 吉永健司
 委員 青木 照美 委員 池永幸生

7月7日 福岡県行橋市 議会運営について

・議会運営について
 ・議会活性化の取り組みについて
 7月7日 福岡県行橋市
市議会構成について
 定数21名、5会派及び無会派3名、3常任委員会及び議会運営委員会、加えて2特別委員会が構成される。議運に関しては各会派から所属議員数に応じて選出された7名で組織されている。



政務活動費について

一人当たり月額25,000円で年度当初全額30万円を個人に支給。使途基準項目共通原則・指針で定めた収支報告により厳しく運用管理を行っている。

7月8日 福岡県筑紫野市 議会運営について

7月8日 福岡県筑紫野市
市議会構成について
 定数22名、4会派及び無会派1名、3常任委員会及び議会運営委員会、加えて3特別委員会が構成される。議運に関しては各会派から所属議員数に応じてドント式により選出された8名で組織されている。



政務活動費について

一人当たり月額3万円で年度当初全額36万円を会派に支給。政務活動費の交付に関する条例により9項目の使途基準を定め明確化しており、収支報告に關しても手引きを策定、会派会計責任者が所属議員の収支を管理し、まとめて事務局へ提出。さらに事務局で担当者がチェックをして議長に報告するという厳格な体制をとっている。

池尻地区開発の影響について

坂本 早苗議員



坂本 池尻地区開発による合志南小学校児童数の増加をどのように考えているのか。
学校教育課長 地区開発により200戸の分譲が予定されている。児童数の予測では合志南小の30年度は1,091人と推計している。学級数は8教室増える見込みである。
坂本 合併時に400人の合志南小が3倍近くなることで、体育館、プール、図書館等の対応はできるのか。
学校教育課長 関連施設については今後協議しなければならぬ。

坂本 この地区計画の着工時期は。
政策部次長 地区開発は地元地権者による組合の施工であり、農政局など関係機関との協議が必要。現時点では多くの不確定な部分がある。

市長 道路は市が整備するが開発は民で行うので、時期を示すのは控えない。

ヴィーブルくんを合志市のゆるキャラとして認定しては
坂本 ヴィーブルくんは総合センター「ヴィーブル」のマスコットとして

作られたが、最近では県内外で合志市のPRに大活躍している。合志市のゆるキャラとしてきちんと認定し、貸し出し基準の整備も必要では。
生涯学習課長 貸し出し件数が増えているので内規を設けたい。正式に市のキャラクターとしての位置づけができれば、さらなる活躍の場が広がると思う。今後検討したい。



合志のゆるキャラ「ヴィーブルくん」

栄グラウンドの整備を！
坂本 合志地区には夜間照明の設備があるのは合志南小のグラウンドだけである。栄グラウンドをもっと整備してサッカーやウォーキングなど使いやすくできないか。

生涯学習課長 利用団体から正式な要望があれば、地区のご意見を聞きながら夜間照明について検討したい。夜間のウォーキング対応には防犯灯の設置を考えたい。